

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大河原町立大河原小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒989-1241

宮城県柴田郡大河原町字町 100 番

E-mail : daisyo@town.ogawara.miyagi.jp

Website : <http://www.town.ogawara.miyagi.jp/daisyo/>

児童生徒数：男子 436 名 女子 472 名 合計 908 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では、環境教育と伝統文化教育をユネスコスクールの取組みの中心として加盟を申請し、平成25年12月10日付で加盟が承認された。

これまでの環境教育と伝統文化教育の概要について報告する。

<環境教育>

○環境教育では、学校の環境を大切にすることを通して、環境保護の意識をもつ児童を育てることを目的としている。

① 緑化活動

例年、高学年児童とPTA環境整備委員会が協力して花壇の整備「花いっぱい運動」を行っている。今年度は、6月5日（水）に春植えの草花の苗を緑化委員会の児童と保護者が協力して花壇に植えた。また、10月30日（水）に秋植えの球根を上記の児童と保護者が協力して植え、花壇の環境を整えた。

常時活動としては、緑化委員会の児童が花壇整備を行い、四季の移り変わりを知り、美しい花壇を整えることができた。

② 栽培活動

校地東側にある栽培園を利用して、各学年が栽培活動に取り組んだ。4月始めに、学校支援ボランティアにより畑の整備を行っていただき、栽培活動を開始した。自分たちが植えたものの世話を継続して行い、秋には、栽培した「えだまめ」や「さつまいも」を使って「ずんだ」や「スイートポテト」を作り、豊かな実りを味わった。

③ プール清掃

クレンザー等の薬剤を使わない「環境に優しいプール清掃」を目的に今年度から取り組んだものである。

4月12日（金）に6年生が講師（角田市婦人会の皆様）を招いてEM(Effective Microorganisms:有用微生物群)発酵液作りの準備作業を行った。その後、約2週間で発酵液を作り、プールに投入し、5月24日（金）に6年生と職員が協力してプール清掃を行った。

昨年度まで苦労した葉が腐敗した臭い、泥臭さ、ぬめり等がまったくなく、水を撒きながらブラシで擦るだけでプールをきれいにする事ができた。児童・職員ともにEM発酵液の働きのすばらしさを実感することができた。

④ エコキャップ運動

緑化委員会が、年間を通してポリオワクチン接種支援につながるペットボトルキャップ回収活動を行った。職員室前に専用の回収ボックスを置き、委員会の児童が定期的に協力を呼びかけた。保護者も含めて、積極的に協力をいただくことができ、3月上旬までの回収個数が、11万個を越え、大きな成果をあげることができた。

<伝統文化教育>

○伝統文化教育では、人とのかかわりを大切にしたい学習活動を充実させて我が国の伝統文化を尊重する児童を育てることを目的としている。

伝統文化教育については、各学年多くの活動を行ったが、その中の一

部を紹介する。

① 実践例1 ～短歌と俳句の世界に親しむ～

7月16日（火）と17日（水）に国語科の授業の一環として、6年生で「短歌教室」、5年生で「俳句教室」を行った。

講師には、大河原町の短歌や俳句の会で活動している皆様に来校していただき、2日間にわたって学級毎に授業の支援をしていただいた。

授業では、短歌や俳句の味わい方、作品に込められた作者の思いなどについて丁寧に説明していただいた。真剣に、そして時には笑顔を見せながら児童は講師の話に聞き入っていた。

日本の伝統的な言葉の文化である「短歌」「俳句」を、地域の講師の皆様につっぷり教えていただいた2日間だった。

② 実践例2 ～宮城の郷土食「ずんだ」作り体験～

3年生では、総合的な学習の時間で「大豆はかせになろう！」という学習に取り組んだ。1学期から実際に大豆を育てたり、大豆にはどんな栄養があるのか栄養教諭と一緒に学習したりして、大豆の秘密を探った。

そして10月上旬に各クラス毎に枝豆を使った宮城の郷土食「ずんだ」作り挑戦した。ずんだ作り体験では、クラブ活動でお世話になっている町役場の栄養士と大河原町食生活改善推進委員連絡協議会（愛称：ヘルスメイト大河原）の皆様支援していただいた。

③ 実践例3 ～宮城県民謡「さんさ時雨」を唄う～

4年生では、町の民謡協会の皆様に来校いただいて、4年生の音楽科の授業で宮城県民謡「さんさ時雨」を教えていただいている。今年で5年目となる伝統文化教育の代表的な活動である。9月から授業が始まり、3回目には、民謡の先生方による唄と踊りを鑑賞したり、練習の成果を発表したりした。

「さんさ時雨」は、10月25日（金）の町小中学校音楽祭、11月3日（日）の町民文化祭、11月16日（土）の音楽発表会で、多くの保護者や地域の皆様に発表し、大きな拍手をいただくことができた。

④ 実践例4 ～伝統文化教育の成果を発表～

11月25日（月）に文部科学省初等中等教育局の教科調査官が、昨年度に続いて大河原小学校に来校し、伝統文化教育の授業を参観した。

今回は、2年生の図画工作科「おはなし大すき」と3年生の道徳「ふろしき（愛国心）」の授業を参観していただいた。また、6年生が演奏するカンタータ「大河原の詩」（2013年版）」も聴いていただいた。

2年生は、ゲストティーチャーの方に「かさこじそう」の語りをしていただいた後、それぞれの場面のイメージをふくらませて絵を描いた。

3年生は、ゲストティーチャーの方にふろしきの由来やいろいろな使い方を教えていただく中で、日本の伝統文化のよさを知り、大切にしていこうとする心情を高めた。

6年生は、故郷「大河原」の素晴らしさを歌ったカンタータ「大河原の詩」を豊かな響きで演奏した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）